

(2009年6月8日)

仮訳

## 国際会計基準委員会財団 (IASCF) モニタリング・ボード プレスリリース

### 「G20 首脳の要請に対するデュープロセスに関する声明」

我々モニタリング・ボードのメンバーは、G20 首脳声明において、評価と引当に関する会計基準の改善が要請されたことを受け、国際会計基準審議会 (IASB) が、今後、金融商品に関する国際会計基準 (IFRS) を包括的に見直すとした最近の公約を支持する。我々は、本作業結果としての会計基準が、グローバルかつ包括的なアプローチを提示し、その結果、発行者に関する更なる透明性と比較可能性を備えた財務報告をもたらし、もって世界中の投資家の便益に資することを期待する。我々は、本作業において、収斂された高品質かつグローバルに受け入れられた評価と引当の会計基準の達成に向けた進捗をもたらすべく、IASB 及び他の基準設定主体が協力して最大限の努力を行うことを強く支持する。

我々は、基準設定主体が、自らの見識、経験、デュープロセスに依拠し、かつ個別の論点の緊急性と全利害関係者の見解を考慮に入れつつ、独立した判断を行使できることによって、高品質の基準開発が最も可能となるものと信じる。従って、我々がグローバルな会計基準としての IFRS の役割を引き続き支持するためには、IASB のデュープロセスと財務報告の透明性が不可欠であることを、各資本市場で利用される会計基準の決定責任を有する当局として改めて強調する。我々は、引き続き、IASCF 評議員会がデュープロセスと透明性の監視を進める上で、同評議員会とともに協働していく所存である。